

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	保育事業推進事業(運営管理)								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉総務費	目	1	児童福祉総務費
	細目	2	保育事業推進費	細々目	1	保育事業推進費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
子育て世代が子育てと仕事を両立できるよう、保育サービスの充実を図るための事務事業を行う必要がある。	保育所への入所が必要な児童とその保護者が希望する保育園に入所できるよう事務を進めることで、子育て支援につなげる。	保育所入所手続き等の事務を行う。		
活動指標		成果指標		
保育所定員(23.4.1)		延べ利用者数(23年度)		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
1,455人	1,455人	17,156人	17,156人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	268,153	241,749	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	47,640	44,910		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (10/10)		315,793	286,659	
合計		315,793	286,659	合計		315,793	286,659
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.05	5,417,090				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
近年0歳~2歳児の入所希望者が増加している。	市内各保育園と定員の見直しを協議する。(平成25年度から10名増の予定。)
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	平成23年度は待機児童はいない。

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	保育運営事業(公立)								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	保育所費
	細目			細々目			会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
子育て世代が子育てと仕事を両立できるように、保育サービスの充実を図る必要がある。		保護者が就労等により家庭での保育に欠ける就学前の児童を対象とし、保護者の就労を支援するとともに、入所児童が安心、安全な保育所生活を送ることで、子育て支援を行う。		市内公立保育園5か所において、保育に欠ける児童を預かり、安全かつ健全な発達に結びつくように保育を行う。 延べ入所児童数(23年度) 乳児 163人 1,2歳児 1,046人 3歳児 939人 4歳以上 1,748人 計 3,896人	
活動指標			成果指標		
保育所定員(公立 23.4.1)			年間延べ入所児童数(公立 23年度)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
405人		405人		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
3,896人		3,896人		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	40,411,124	37,928,066	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	4,142,000	4,099,410		県支出金 ()		
	使用料及び賃借料	1,724,136	1,697,210		地方債 ()		
	負担金、補助及び交付金	1,521,000	932,772		その他 ()		
	その他	1,392,740	1,274,111		一般財源 (10/10)	49,191,000	45,931,569
合計	49,191,000	45,931,569	合計	49,191,000	45,931,569		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
平成21年度に乳児保育園を民営化した後に、民営化が進んでいない。また、下津保育園以外は、昭和50年前後の園舎のため、老朽化が進んでいる。		民営化は、子ども・子育て新システムの中で、市が保育の需給状況に基づき、計画を立てる必要があるため、その中で公立保育園のあり方も検討する。 また、施設改修は、年次計画を立てた中で、関係課等と協議を行う。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	保育運営事業(私立)								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
子育て世代が子育てと仕事を両立できるように、保育サービスの充実を図る必要がある。		保護者が就労等により家庭での保育に欠ける就学前の児童を対象とし、保護者の就労を支援するとともに、入所児童が安心、安全な保育所生活を送ることで、子育て支援を行う。		市内私立保育園12園、市外保育園に対し保育を委託し、保育所運営費を支払う。 延べ入所児童数(23年度) 乳児 1,072人 1,2歳児 4,019人 3歳児 2,957人 4歳以上 5,212人 計 13,260人	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
保育所定員(私立 23.4.1)			年間延べ入所児童数(私立 23年度)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
1,050人	1,050人	13,260人	13,260人		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	委託料	980,666,000	950,156,050	財(源割内訳)	国庫支出金 ()	322,802,000	301,219,048	
					県支出金 ()	161,401,000	150,609,523	
					地方債 ()			
					その他 ()	343,220,000	330,707,699	
					一般財源 ()	153,243,000	167,619,780	
合計		980,666,000	950,156,050	合計		980,666,000	950,156,050	

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.4	1,490,440

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
少子化傾向は続いているが、保育園の入所児童数は、依然と高い水準にある。	入所率の高い保育園について、定員増の協議をしていく。(平成25年度から10名増の予定。)

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	4
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
1	安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実		
事業名 延長保育事業							
款 3		民生費		項 2		児童福祉費	
目 1		児童福祉援護経費		目 2		児童措置費	
細目 1		児童福祉援護経費		細々目 2		児童福祉援護経費	
会計種別		一般会計					
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別		継続 経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
保護者の就労時間の多様化に対応するため、開所時間を超過して保育を行い、安心して子育てできる環境を整備する必要がある。		勤務時間のため11時間を超過して保育を必要とする保護者が、安心して子どもを保育園に預けて仕事ができる環境を整えることで、子育て支援、就労支援を目的とする。		市内私立保育園の11時間の保育時間の前後に1時間、又は30分の延長保育を行う保育園に対して補助を行う。 ・1時間延長 焼野、須恵、姫井、西福寺、真珠(5園) ・30分延長 さくら、伸宏、石井手、貞源寺、貞源寺第二、あおい(6園)	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
延長保育実施箇所数		延長保育延べ利用者数(H23)		100	
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	
11箇所		11箇所		26,536人	
				26,536人	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	59,400,000	58,558,000	財(源内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (2/3)	39,599,000	39,038,600
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (1/3)		19,801,000	19,519,400	
合計		59,400,000	58,558,000	合計		59,400,000	58,558,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
延長保育を1時間延長を行っている園と30分延長を行っている園がある。		延長時間について、利用者のニーズを把握していく。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	5		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	一時預かり事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費(補助)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
病気、事故、看護、冠婚葬祭、育児疲れの解消、保育所入所の要件を満たさない短時間勤務等、保育園を利用していない世帯において、一時的な保育の需要が高い。		病気等の理由により、一時的に保育を必要とする児童に対して、保育を行うことで、保護者の精神的、肉体的負担を軽減する。		公立2園、私立7園で一時預かりを実施し、保護者には利用料を負担してもらい、私立保育園に対しては、実績に応じて補助を行う。 ・公立 日の出、出合 ・私立 焼野、須恵、さくら、真珠、あおい、貞源寺第二、東割(市外) ・保護者負担金 1日利用 1,800円 半日利用 900円	
活動指標			成果指標		
一時預かり実施保育園数			延べ利用者数(23年度)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
9箇所		9箇所		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	8,460,000	8,267,400	財(源割内訳)	国庫支出金 (1/2)	4,133,700	4,133,700
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		8,460,000	8,267,400	一般財源 (1/2)		4,326,300	4,133,700
				合計		8,460,000	8,267,400
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	725,410				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
一時預かりの内容と実施している保育園に関しての電話等での問い合わせは多いことから、制度の更なる周知が必要である。	子育てホームページ(さんようおのだっこ)や市広報、ガイドブックなどで周知していく。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	6		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	障害児保育事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
障害を持つ児童の保護者が安心して就労することができるような保育環境を整える。 なお、平成24年度から県補助は廃止となり、市単独事業となる。		障害をもつ児童とその保護者を対象として、当該児童が他の児童との集団生活を通して社会性を身につけることができることで、保護者の育児、就労支援につながる。		障害児を受け入れる私立保育園に対し、保育士配置などに対する補助を行う。また、公立保育園でも、受け入れを行う。 焼野、須恵、さくら、石井手、貞源寺、貞源寺第二、日の出、下津、出合、厚陽保育園(合計43人)	
活動指標			成果指標		
障害児保育実施箇所数(23年度)			入所児童数(23年度)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
10箇所		10箇所		100%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
43人		43人			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	7,670,000	6,926,350	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	公立分	7,400,280	7,400,280		県支出金 (1/2)	7,013,920	7,013,920
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計	15,070,280	14,326,630	一般財源 (1/2)		8,056,360	7,312,710	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		0.15	674,660	15,070,280 14,326,630			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
障害を持つ児童の保育ニーズが増加傾向にあることから、保育園への負担が増すことが予想される。	保健センター、なるみ園等との連携をすすめ、障害児保育のサポートを行う。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	7		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	病児・病後児保育事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費(補助)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
<p>集団保育が困難な病児・病後児を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全育成に寄与する。</p>		<p>0歳～小学校低学年の児童が対象で、集団保育が困難な病児・病後児を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全育成に寄与する。</p>		<p>病児ケアハウス2箇所に委託し、保護者が勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な病児・病後児を集団保育が困難な期間、一時的に預かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野田病児ケアハウス ・病児ケアハウスキッズあさひ 	
活動指標			成果指標		
委託施設数			利用者延人数(実績)		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
2箇所		2箇所		659人	659人
					100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	委託料	15,700,000	15,554,000	財(源割内訳)	国庫支出金 (1/3)	5,233,300	5,184,650	
					県支出金 (1/3)	5,233,300	5,184,650	
					地方債 ()			
					その他 ()			
			一般財源 (1/3)		5,233,400	5,184,700		
合計		15,700,000	15,554,000	合計		15,700,000	15,554,000	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.1	604,100					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
勤務先が近隣市にある場合、その市の病児ケアハウスを利用する保護者がある。このため、委託料の負担の検討が必要である。		近隣市との協議を行い、市民が他市でも利用しやすくする。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	8		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	子育て短期支援事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	2	児童福祉援護経費(単独)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
児童を養育している家庭の保護者が疾病、仕事その他の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合及び母子が夫の暴力により緊急一時的に保護を必要とする場合に、一定期間、養育・保護を行う。		0歳～18歳の児童とその家族が対象で児童を養育している家庭の保護者が疾病、仕事その他の事由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合及び母子が夫の暴力により緊急一時的に保護を必要とする場合に、一定期間、養育・保護を行う。		児童養護施設2箇所に委託し、保護者が家庭で保育を行うことが困難な児童及び一時的に保護を必要とする母子等を一定期間、養育・保護する。 ・短期入所生活援助(ショートステイ)事業 ・夜間養護(トワイライトステイ)事業			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
委託施設数			利用者延人数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2箇所		2箇所		19人		19人	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	委託料	144,000	104,500	財源(割内合訳)	国庫支出金	(1/2)	72,000	36,500
					県支出金	()		
					地方債	()		
					その他	(保護者負担金)		31,500
			一般財源		(1/2)	72,000	36,500	
合計		144,000	104,500	合計		144,000	104,500	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.05	302,050					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	9		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	保育の質の向上のための研修事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	2	保育事業推進費	細々目	1	保育事業推進費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
各保育園に求められている保育の内容は、子どもの健康、安全の確保、発達の保障等であり、これについて一定の水準を保つためには、研修等を通じて、保育の質を向上する必要がある。		保育士の専門性向上という質の高い人材を安定的に確保するという観点から、質の向上を図るための研修を実施することにより、子どもを安心して育てることができるような体制整備を行うことを目的とする。		保育の質の向上のため、保育所等の保育士を対象に研修会を開催する。 ・わらべ歌研修 ・自己評価について ・造形研修会 ・歌遊び手遊び研修会	
活動指標			成果指標		
開催回数		参加者人数		成果指標の到達度(B/A)	
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
4回		4回		483人	
				483人	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	500,000	488,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (1/2)	250,000	244,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		500,000	488,000	一般財源 (1/2)		250,000	244,000
				合計		500,000	488,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	2	放課後児童対策の充実			
事業名	放課後児童対策事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童クラブ費
	細目	1	児童クラブ運営費	細々目	1	児童クラブ運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
保護者の就労等の理由により、放課後や長期休業期間に養育する者のいない小学生の居場所づくり、保護者の就労支援が必要である。		小学1～3年を養育している就労家庭の保護者とその児童を対象として、保育を行うことで、児童の健全育成と保護者の就労支援を推進する。		市内12小学校区において、児童館、小学校の空き教室を使用して実施し、運営は、山陽小野田市社会福祉協議会に委託している。 ・平日は、放課後から午後5時まで ・土曜日、長期休業期間は、午前8時30分から午後5時まで。 (どちらも1時間の延長あり。)	
活動指標			成果指標		
児童クラブ実施箇所数			入所率(24.3.31)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
12箇所		12箇所		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
100%【488人】		100%【488人】		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	159,888	159,888	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	226,000	224,355		県支出金 (2/3)	25,984,000	25,984,000
	委託料	57,418,500	57,418,500		地方債 ()		
	備品購入費	179,457	160,700		その他 ()	14,990,000	13,572,530
					一般財源 ()	17,009,845	18,406,913
合計		57,983,845	57,963,443	合計		57,983,845	57,963,443
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	3,020,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
減少傾向にあるものの、待機児童が生じている。		施設整備等により、受け入れ児童の拡充に努める。(平成23年度に厚狭児童クラブ建設)	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	2	放課後児童対策の充実			
事業名	放課後児童クラブ指導員研修								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童クラブ費
	細目	1	児童クラブ運営費	細々目	1	児童クラブ運営費(補助)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
児童クラブに通う児童の中には、障害を持つ児童をはじめ、様々な児童がおり、指導員もその対応に苦慮している。	児童クラブ指導員が研修に参加し、その中で学んだことを現場での保育に生かし、もって児童の健全育成につなげる。	国、県主催の研修会に参加することで、指導員の資質向上を目指す。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
実施回数		参加者人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
2回	2回	17人	17人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	62,300	62,300	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (10/10)	62,300	62,300
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()		
合計		62,300	62,300	合計		62,300	62,300
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
当該補助事業は、平成24年度でなくなるため、今後は国及び県の補助は見込めない。	障害児研修については、市関係施設職員に研修を依頼し、その他、県主催の研修会に積極的に参加できるよう受託者の社会福祉協議会に依頼する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	8		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	2	放課後児童対策の充実			
事業名	児童クラブ施設整備事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童クラブ運営費
	細目	1	児童クラブ運営費	細々目	1	児童クラブ運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
厚狭児童クラブは、厚狭小学校の児童数が増加傾向にあるため、学校の教室が足りない状況となっている。このため、待機児童解消の面から新たな施設整備が必要である。	厚狭小学校に隣接した児童クラブ室を設置することで、放課後の児童の居場所確保、保護者の就労支援を行う。	建築住宅課に基本設計を依頼し、実施設計、本体工事、電気、設備工事の入札を行い、23年11月末に工事着工し、24年4月から供用開始とする。	
活動指標		成果指標	
施設整備費用		児童クラブの定員	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
34,769,700円	34,769,700円	80人	80人
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	3,922,800	2,769,900	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	工事請負費	32,000,000	31,999,800		県支出金 (2/3)	21,333,000	21,333,000
					地方債 ()	13,900,000	12,700,000
					その他 ()		
			一般財源 ()		689,800	736,700	
合計		35,922,800	34,769,700	合計		35,922,800	34,769,700
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,114,350				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要
	事業終了		単年度事業のため事業終了
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		こども家庭係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	3	児童福祉施設の充実			
事業名	児童遊園施設整備事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	4	児童遊園関連経費	細々目	1	児童遊園関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地域における保育サービスの充実を図る基盤づくりを推進するため、児童遊園地施設整備を行うとともに、自治会管理の児童遊園施設整備に対して、補助を行う。		児童遊園地施設整備を実施又は補助することにより、地域における保育サービスの充実を図る基盤づくりを推進する。		児童遊園施設整備を行う。 【助成内容】 ・新設(用地取得費、建設費) ・補修(遊戯施設の補修費) ・借地(借地料)	
活動指標			成果指標		
児童遊園施設整備実施箇所数			児童遊園施設整備実施箇所数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
6箇所		6箇所		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	301,050	298,247	財源(割合内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	74,000	73,370		県支出金 ()		
	負担金補助及び交付金	300,000	200,000		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (10/10)		675,050	571,617	
合計		675,050	571,617	合計		675,050	571,617
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	604,100				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	3	児童福祉施設の充実			
事業名	民間保育サービスにおける防災対策強化事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	2	保育事業推進費	細々目	1	保育事業推進費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
認可保育園においては、防災対策に関する加算があるが、民間保育サービス施設に対しては、補助がない。		民間保育サービス施設に防災対策の強化のための備品等の購入費用の一部を補助することにより、災害時の安全性を向上させることを目的とする。		民間保育サービスに対し、防災・防犯の取り組みに必要な経費を補助する。なお、1施設あたり100,000円を上限とする。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
防災対策強化事業実施施設数			防災対策強化事業実施施設数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2施設		1施設		2施設		1施設	
50 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	200,000	100,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (10/10)	200,000	100,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()				
合計		200,000	100,000	合計		200,000	100,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要
	A評価であるが、単年事業のため終了		事業終了
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	3	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	3	児童福祉施設の充実		
事業名	貞源寺第二保育園施設整備費補助事業							
予算費目	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	2	保育事業推進費	細々目	1	保育事業推進費	会計種別	一般会計
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
貞源寺第二保育園は、旧乳児保育園を民営化したもので、かつては3歳未満時を対象としていたが、民営化により小学校就学前の児童が対象となり、部屋不足の解消のため、間仕切りの設置やトイレ等の設備で不十分な面があるので、大規模改修する。		部屋不足の解消のため、間仕切りの設置やトイレ等の衛生設備の改修等を行うことで、施設の安全性確保と保育環境の向上を図る。		法人が行った施設整備に対し、補助を行う。また、安心こども基金から1/2補助がある。 ①乳児室、調乳コーナー等の改修 ②間仕切り撤去 ③倉庫調理室の改修 ④児童用トイレ改修 ⑤職員トイレ改修 ⑥保育室床改修			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
施設整備費用			改修箇所数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
7,480,000円		7,480,000円		6箇所		6箇所	
						100%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	7,480,000	7,480,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (1/2)	4,987,000	4,987,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		2,493,000	2,493,000	
合計		7,480,000	7,480,000	合計		7,480,000	7,480,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要
	A評価であるが、単年事業のため終了		事業終了
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		こども福祉課		保育係		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	3	児童福祉施設の充実			
事業名	保育園・幼稚園AED設置事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	2	保育事業推進費	細々目	1	保育事業推進費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
園児、保育士等の心肺停止があった際に、救急車が到達するまでの間に適切な処置を行うためにAEDの設置が求められる。		AEDの設置を希望する保育園・幼稚園に対し費用の補助を行うことで、各施設のAED設置を促進し、万一の際の救命率を高め、もって児童、保育園職員の安全を確保する。		AEDの設置を希望する施設に対し、AED設置にかかる費用の補助を行う。また、設置時と定期的に使用方法の研修を求め、万一の際に誰でも使用できるように備える。 ・さくら、姫井、石井手、真珠、貞源寺、貞源寺第二、あおい保育園、小野田めぐみ幼稚園(8箇所)	
活動指標			成果指標		
補助費用			設置箇所数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
754,320円		754,320円		8箇所	8箇所
					100 %

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	754,320	754,320	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (10/10)	754,320	754,320
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		754,320	754,320	一般財源 ()			
				合計		754,320	754,320
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要
	A評価であるが、単年事業のため終了		事業終了
その他			